

多摩都市モノレール延伸事業(上北台～箱根ヶ崎)及び関連する都市計画道路

【事業概要及び用地測量説明会 主な質問と回答】

※回答は、基本的に東京都（北多摩北部建設事務所）が行いました。ただし各市町や多摩都市モノレール株式会社が行った回答には“○”が付いています。

【全体計画について】

質問１：事業費はいくらですか。

回答１：現時点におけるモノレール整備の総事業費は約 1290 億円です。このうち東京都負担は約 900 億円、多摩都市モノレール株式会社負担は約 390 億円です。

質問２：今回延伸するモノレールの開業はいつ頃ですか。

回答２：2030 年代半ばの開業を目指して事業を進めていきます。

質問３：モノレールは一部を先行して開業することはありますか。

回答３：○一部を先行する部分開業は予定していません。（多摩都市モノレール株式会社）

【説明資料について】

質問４：説明の中にあつた動画を YouTube や市役所などで見られるようにして欲しいです。

回答４：東京都北多摩北部建設事務所のホームページにて、動画を見ることができるよう検討しています。今後、各市町とも連携し、ご提案のように多くの方にご覧いただけるよう調整します。

質問５：自宅付近の整備イメージがわかるようにして欲しいです。

回答５：今後ご説明する際には、整備のイメージができるようわかりやすく説明していきます。

【道路の構造について】

質問６：無電柱化はどのように進めるのですか。

回答６：電線共同溝を整備して無電柱化する計画です。なお電線共同溝の整備はモノレール整備後に実施する予定です。

質問７：街路樹はどのような木が植えられますか。

回答７：歩道と自転車の通行空間の間に幅 50cm の植樹帯を計画しています。具体的には今後検討していきます。

質問８：車道が広がるので、横断歩道が長くなります。高齢者も安全に横断できるよう、配慮をお願いします。

回答８：歩行者が安全に横断できるよう、今後、交通管理者と調整します。

質問 9：道路の拡幅で舗装部分が多くなり雨水の流れ込む量が増えても、現在の雨水管で耐えられるのでしょうか。

回答 9：雨水管の整備は最新の基準を用いて、適切に処理できるよう計画していきます。

【工事について】

質問 10：モノレール工事の着手や事業が完了する時期はいつ頃ですか。

回答 10：モノレール工事の着手時期は現時点では未定です。モノレールの開業は 2030 年代半ばを目指しますが、道路工事を含めた全ての事業が完了する時期は未定です。

質問 11：工事は基本的に昼間作業とのことですが、夜間作業はありますか。

回答 11：基本的には昼間工事ですが、車線規制が必要な場合には夜間工事となることがあります。夜間工事を行う際は事前に周知します。

【用地取得について】

質問 12：都市計画線外の不整形や狭小な残地は取得してもらえますか。

回答 12：都市計画線外の残地は、原則として取得しません。

質問 13：用地取得の進捗状況を教えてください。

回答 13：令和 6 年度末時点での用地取得率は概ね 7 割です。

質問 14：用地取得の対象者（地権者）は何名程度ですか。

回答 14：今後進める測量により事業に必要な土地が確定するため、現時点では不明です。

質問 15：補償内容などが不明確な状態では測量に協力したくないです。

回答 15：用地取得では、土地の売買代金と物件移転補償金をお支払いしますが、これを算定するには建物と敷地内の調査や測量が必要なため、ご協力をお願いします。

質問 16：移転先は個人で探すのですか。

回答 16：移転先は基本にご自身で探していただきます。なお、移転先が見つからない場合には、不動産情報のご紹介なども可能です。用地補償の段階で個別にご相談ください。

【その他】

質問 17：駅前広場は市や町が整備すると思いますが、整備に必要な事業費はいくらですか。

回答 17：○駅前広場を整備する予定はありません。（東大和市）

○仮称 No.1 駅と仮称 No.3 駅の南側に駅前広場を計画していますが、いずれも事業費は未定です。（武蔵村山市）

○仮称 No.6 駅に交通広場を計画しています。仮称 No.7 駅では、JR 箱根ヶ崎東口の駅前広場の改修を計画していますが、いずれも事業費は未定です。（瑞穂町）

質問 18：バスの駅前広場への乗り入れや路線の変更について、バス会社との協議はどのような状況ですか。

回答 18：○バス路線の検討は、社会情勢やモノレールとの接続などを考慮しながら、バス会社を含め 2 市 1 町で連携して実施していきます。（東大和市）

○「地域公共交通計画」を今年度末に策定予定です。現在はバス会社の方も委員として入っている「地域公共交通協議会」において、今後の公共交通のあり方などを検討しているところです。（武蔵村山市）

○バス路線の検討は、社会情勢やモノレールとの接続などを考慮しながら、バス会社を含め 2 市 1 町で連携して実施していきます。（瑞穂町）